

令和 5 年度第 1 回 柏市健康福祉審議会地域健康福祉専門分科会会議録

1 開催日時

令和 5 年 10 月 26 日（木）午後 2 時～午後 4 時

2 開催場所

柏市 上下水道局大会議室

3 出席者

(1) 委員（6 人）

中川委員（会長）、山名委員（副会長）、阿部委員、岡田委員、村上委員、堀田委員

(2) 関係部署（12 人）

谷口福祉部長、渡邊福祉部次長兼指導監査課長、渡辺福祉部次長兼障害福祉課長、矢部生活支援課長、小林健康政策課副参事、宮本健康医療部次長兼高齢者支援課長、恒岡地域包括支援課長、星地域保健課長、浅野健康増進課長、渡会子育て支援課長、柏市社会福祉協議会原次長、柏市社会福祉協議会富樫総務課長

(3) 事務局（5 人）

虻川福祉政策課長、高橋福祉政策課主幹、泉田福祉政策課主査、品地福祉政策課主事、剣持福祉政策課主事

4 議題

(1) 第 4 期柏市地域健康福祉計画の進捗確認について

(2) 第 5 期柏市地域健康福祉計画策定方針について

(3) その他

5 議事（要旨）

議題「(1) 第 4 期柏市地域健康福祉計画の進捗確認について」

・資料 3 に沿って進捗状況を高橋福祉政策課主幹から説明

[質疑応答]

・活動指標に基づいた進捗率の表について、「取組名」と記載があるとわかりやすいのではないか。進捗率の計算方法を確認したい。表の数値が事業数なのか活動数なのか。活動数とは何か。（堀田委員）

→「取組名」については次回より掲載を行う。進捗率については、令和 3 年度に達成の目標値を設定しており、その目標と比較した到達率となる。活動数計は事業数合計と一致する。（事務局）

・実施した市民アンケートの概要が知りたい。（阿部委員）

→調査対象は18歳以上の市民である。現行計画の策定時の基礎調査時は4,000人、中間年度の令和3年度の調査時は2,000人を対象とし、いずれも回収率は35%程度である。(事務局)

議題「(2) 第5期柏市地域健康福祉計画策定方針について」

- ・資料4—1～4に沿って高橋福祉政策課主幹から説明
- ・資料4—5～9, 資料5に沿って品地福祉政策課主事から説明

[質疑応答]

- ・アンケートを行うことについて事前周知は行っているのか。結果についての公表の有無、公表する場合はどの媒体を利用するのか。(岡田委員)
- 無作為抽出した18歳以上の市民4,000人に送付予定であるが、事前周知を行う予定はない。アンケート結果は集計後、年度末にHPで公開予定である。(事務局)
- 御意見：結果を公表するのであれば、無作為で行うという周知があったほうが良いのではないか。(岡田委員)

- ・アンケートの回収率向上に向けて工夫は行うのか。(阿部委員)

→「柏市まちづくり推進のための調査」を企画部データ分析室で実施した際に、回収率が高かった(約65%)。属性という個別的で心理的ハードルの高い設問を最初に置かない等、アドバイスをもらい、アンケートの作り方の参考にした。督促を行う、ボールペンを同封するといった工夫もあったようだが、今回の市民アンケートでは実施しない予定。(事務局)

- ・空地・空き家対策や防犯・防災といった課題対応を含む検討されるのか。(阿部委員)

→庁内でも各部署と連携しながら策定していくことが大切だと考えている。まずは、市民の方からの要望があれば担当課へ報告し、どのような手法が取れるか等検討していきたい。(事務局)

- ・柏の人口は人口移動に伴う社会増であるが、今後、社会資源である「人」「物」「金」の確保が難しくなる。計画や事業の推進でも、新たな組織や事業も大事だが、既存の組織、団体を活用する仕組みを作っていけると人材不足の解決にもつながるのではないか。(阿部委員)

→地域で活躍してもらえる人材を増やしていくためにも推進する仕組みを考えたい。まず第一歩として、地域・行政が同じ目線合わせができるツールとして計画書を活用できるよう工夫して策定したい。(事務局)

[御意見]

- ・市や社協で行っていることについて、どうやったら見てもらえるかを工夫して繰り返し発信を行ってほしい。知ってもらうという工夫が必要である。(中川委員)
- ・第4期計画でうたわれていた内容を置き去りにすることなく総括を丁寧に行い、第5期

計画に受け継いでいくことが必要である。(堀田委員)

- これまでは「生活支援体制整備事業」がよく出てきたが、新たに「重層的支援体制整備事業」が出てきてからは、計画に登場しなくなり、これまでの事業がどうなったのか繋がりも終結も見えない。総括の部分ではこういった部分についても、事業の継続性や繋がりをわかりやすく触れてほしい。(堀田委員)
- 第4期の中見直しで、今後の課題として挙げられていた内容が、形が変わっても持続していて、解決に向けてのどのようになっているのか進捗確認も必要である。(堀田委員)

議題「(3)その他」

- 次回分科会の開催日程について泉田福祉政策課主査より説明